

なんぶじどう 南部児童センターだより 10月号



〒390-0833 松本市双葉4-16 総合社会福祉センター2階 Tel 24-1562

Fax 50-6386

虫の声に色づく木々…秋の深まりを感じる季節となりました。
この頃、センターのトイレのスリッパが揃えられていない場面を何度も見かけました。集会で声をかけると、しばらくは揃うのですがまたばらばらになってしまいます。また声をかけないといけないのかな？と心配をしていると1年生の男子がきれいにスリッパを揃えてくれていました。みんなに伝えるとそれを皮切りにいい事連鎖が増えていき、毎日スリッパは揃えられています。職員が「あたりまえのことをしっかりできる人になろう」とみんなに伝えています。子どもたちに響いていることがとても嬉しいと感じる出来事でした。

10月の予定

○おはなしの会 20日(月) 15:50~

地域の方が絵本や紙芝居の読み聞かせをしてくださいます。

○ハロウィン工作 20日(月)~

ハロウィンに向けての工作です。みんなで素敵な作品を作りましょう。

○うんどう遊び 毎週金曜日

西脇先生のうんどう遊びです。みんなで楽しみながら体を動かしましょう。都合により他の曜日に変更になる場合がありますのでご了承ください。

<8月・9月の活動の様子>



10月4日(土)の「ふれあいまつり」に南部児童センター有志の児童が出演します。安岡先生の熱のこもった指導のもと夏休み前から熱心に練習に励んできました。地域の皆様、保護者の皆様、応援をよろしくお願いします。



ドミノ倒しを始める子どもたち。階段を作ったりトンネルを作ったり、友だちと協力しながら時間をかけて沢山並べていました。途中で倒れてしまい最初からやりなおしになってしまっても何度も挑戦していました。完成すると「先生！動画撮って！」と職員を呼びドミノが全て倒れると子どもたちは大喜びでした。



児童館・児童センターは「子どもの権利に関する条例」「子どもの居場所づくり」を推進しています。児童相談をいつでも受け付けています。お気軽にお越しください。

「大切な人へのプレゼント」として「携帯ストラップ」を作りました。子どもたちが色を選び時間をかけて編みこみました。日頃の感謝の気持ちを込めて、素敵な作品を仕上げました。